

令和3年度 柳町地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

柳町地域ケアプラザの担当圏域の状況は、他地域と同様に住民参加の「集う場」がコロナ禍で劇的に変化した。これまで活発に活動していた団体が活動を休止せざるを得なくなったり、活動の内容を見直したりすることが余儀なくされている。一方で、コロナ禍だからこそ見えた新たな生活課題もあった。新しい生活様式の中で、閉ざされかけていた地域住民同士のつながりを再構築していくために、これまで同様に支え合いの仕組みづくりに取り組むとともに、これまでとは異なる支え合いの仕組み作りも検討していかなければならない。特に、引きこもりがちになっている住民へ向けての情報発信について地域と協働して取り組んでいく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域に向けた困りごとについてのアンケート調査を行い、情報収集を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○5職種で協力し、教育機関や地域企業などと連携し、認知症サポーター養成講座などを開催する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○区と協働で作成したDVD「ひきこもりについて考えよう」を活用し、課題を共有しながら啓発活動を行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○来年度の担当エリア変更に合わせ、円滑に移管ができるよう、居宅介護事業所、ケアプラザ間など関連機関との情報交換を密に行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○感染予防策を行いながら、コロナ禍でも安全にケアプラザでの活動が行えるように工夫する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和3年度も緊急事態宣言の発出に伴い、地域の活動が大幅に制限されたが、感染防止対策を講じながら地域で活動している団体の支援や、オンラインを活用した居場所づくり、研修など工夫して取り組んだ。また、昨年度に実施したアンケートの結果を更にブラッシュアップして分析したり、地域で孤立している人とのつながりをテーマに新たなアンケート調査を実施したり、地域のニーズ把握に努めた。

日々の相談に関しては、自ら支援を求めにくい方の支援について関係機関と連携して取り組んだり、地域の民生委員から緊急対応の連絡が入ったりと、これまで培ってきたネットワークの活用と新たなネットワーク構築に取り組むことができた。

次年度は、感染状況に対応しながらもこれまでの地域支援を踏襲するだけでなく、コロナ禍で培ってきた新たな地域支援の方法も融合させながら地域づくりに取り組んでいきたい。

区からのコメント

昨年度に引き続き、地域活動が制限されてしまい、地域活動の支援やケアプラザ事業を進めることが難しい1年だったかと思います。そんななかでも、活動している地域には積極的に参加し、情報収集していただいた結果「スマホ教室」の開催を実施しています。

また、昨年行ったアンケートの更なる分析や新たなアンケートの実施など継続的な地域ニーズ把握への取組はコロナ禍により顔を合わせる事がこと難しいなか、非常に有意義な取組だと思えます。

区行政や関係機関との連携においては、日頃のネットワークを継続して活用するとともに、ケアプラザ内の職種間連携も意識した、新たな支援ネットワークの構築にも取り組んでいただいております。複雑化する課題に対する支援の輪を広げていただいております。

引き続き、新しい生活様式の中でのつながりの再構築や新たな支え合いの仕組み作りに向けたケアプラザ運営・事業展開をお願いいたします。